

出雲の古墳

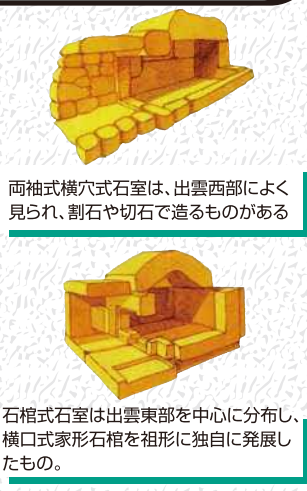
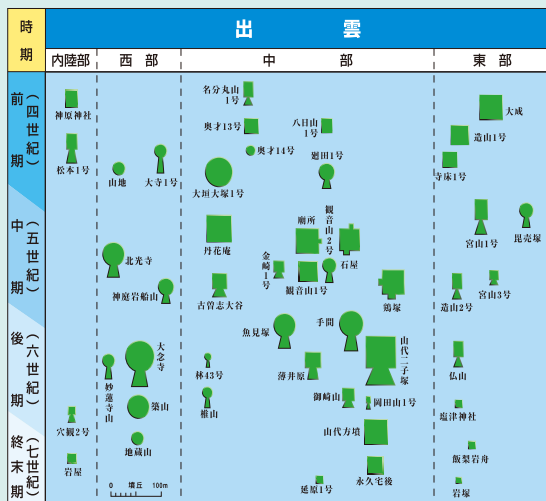
出雲地域では

4世紀前半になると安来市荒島町周辺を中心とする中海沿岸と、斐伊川中流域(雲南市)に相次いで前方後方墳や方墳が出現します。

荒島町は弥生時代から大型の四隅突出型墳丘墓が造られた地域で、これらに継続する大成古墳や造山1号墳は、出雲東部を治めた大首長の墓に相応しい規模を誇る大型方墳として知られています。弥生時代に西谷墳墓群が造られた出雲西部では後続する有力な古墳は造られず、景初三年銘の三角縁神獣鏡で有名な神原神社古墳など新たな勢力が台頭します。

4世紀末になると埴輪や葺石をもつ前方後円墳や円墳も出現し、6世紀前半までには各地域に40~50m級の大型古墳が造られるようになります。墳形の多様化や大型古墳の分布の拡大など、勢力の均衡化が進んだ様子がうかがえます。

6世紀中頃になり、突如として90m超級の山代二子塚古墳・大念寺古墳が出雲東部に出現すると、他地域では次第に際だった古墳は造られなくなり、小規模古墳や横穴墓しか見られなくなります。



出雲の古墳

く神戸川右岸の古墳 一今市・塩冶古墳群一

今市町から上塩冶町の一帯は、出雲西部域を治めた大首長の墓が分布します。大念寺古墳・上塩冶築山古墳・地蔵山古墳と続く歴代の最高首長墓のあり方は、ほぼ同時期に出雲東部に現れる山代二子塚古墳などと対比され、出雲の東地域に拮抗する勢力が存在したことを物語っています

だいねんじ こふん

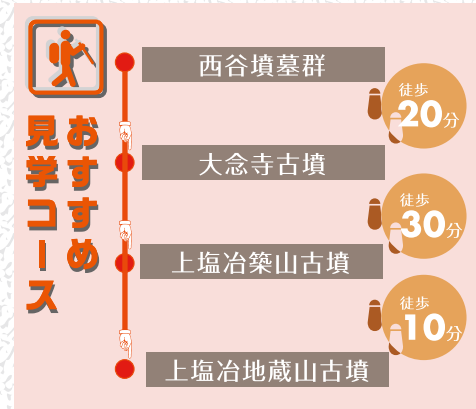
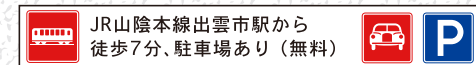
◆大念寺古墳◆ 大迫力！石棺の大きさは日本一

国指定

出雲市今市町鷹ノ沢

出雲市駅の東500mにある大念寺の裏山に所在します。全長92m程の前方後円墳であり、松江市の山代二子塚古墳とともに県内最大規模の古墳です。墳丘は黒色と茶色の土層を交互に盛る高度な土木技術が使用されています。横穴式石室は13m程の規模で、奥室には全国最大の家形石棺が、前室には組合せの石棺が置かれています。石室は江戸時代に開口し、大刀、金銅製履、馬具等の副葬品が発見されました。

築造時期は6世紀中頃と推定され、出雲西部一帯に勢力をもった豪族の墓です。



かみえんやつきやま こふん

◆上塩冶築山古墳◆ 究極の横穴式石室と豪華な副葬品

出雲市上塩冶町築山

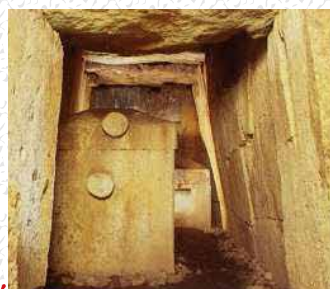
国指定

塩冶神社参道南方の平地に所在する径46mの大型円墳で、円筒埴輪、子持壺が出土しています。横穴式石室は奥行き15m程で、県内では最大級の規模です。石室の各壁は切石からなる精美なつくりで、玄室には大小の2個の横口をもつ家形石棺が置かれています。石室の開口は明治20年(1887)で、玉類、金銅冠、円筒大刀、馬具、須恵器等多くの副葬品が発見されました。総てが優品で、県指定文化財になっています。

築造時期は6世紀後半と推定され、大念寺古墳の被葬者の跡を継いで出雲西部に君臨した豪族の墓と考えられます。



墳丘測量図



家形石棺の加工や、石室壁石の積み方を観察すると
ココに注目! 当時の技術の高さに驚かされます。

かみえんやじぞうやま こふん

◆上塩冶地蔵山古墳◆ 精巧な造りに地蔵さんもビックリ

出雲市上塩冶町池田

国指定

出雲工業高校グラウンドの入口付近に所在します。墳丘は小規模で、盛土が流れているため、墳形は定かではありません。横穴式石室は全長8m程の大きさで、凝灰岩の切石で構築されています。玄室は奥室と前室からなり、奥室は天井、側壁とも一枚の切石で組まれ、内部に家形石棺と石床が置かれています。石棺内には、地蔵尊が祀られています。副葬品は、開口が古く、不明です。築造時期は石室構造より7世紀初め頃と考えられます。



JR出雲市駅から車で5分

玄室の天井石や壁石の組み方、石棺や石床の配置を見ると正確に設計された様子が分かります。

〈神戸川左岸の古墳 ー古志古墳群ー〉

神戸川左岸の古志町周辺には、妙蓮寺山古墳・放れ山古墳・宝塚古墳・大梶古墳が相次いで造られました。墳丘や埋葬施設、副葬品などから、最高首長を補佐した歴代有力者が葬られたと考えられます。

◆宝塚古墳◆

みょうれんじやま こふん
精加工された片袖式の横穴式石室 国指定

出雲市下古志町上組

出雲西高校の東側の平地に造られた古墳で、墳丘は削られ、墳形は分かりません。切石からなる横穴式石室が残り、玄室には家形石棺が置かれています。石室は古くから開口しており、副葬品は不明です。



はなれやま こふん

◆放れ山古墳◆ アーチ型の横穴式石室を持つ古墳

県指定

出雲市古志町新宮

小さな円墳で、横穴式石室は切石をブロック積みにした精美なものです。玄室には石床が3体分残っています。副葬品には大刀、馬具等があり、6世紀後半に築造されています。

JR出雲市駅からバスで15分

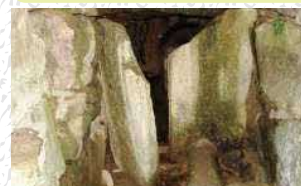


◆妙蓮寺山古墳◆

みょうれんじやま こふん
特徴的な閉塞石が今も残り 県指定

出雲市下古志町妙蓮寺山

妙蓮寺山に築かれた49mの前方後円墳です。割石や自然石からなる横穴式石室があり、玄室には家形石棺が、玄門には切石2枚からなる閉塞石が残っています。大刀、馬具、鈴釧等が副葬された6世紀中頃の古墳です。



家形石棺は横口を2枚の板石で塞ぐ造りになっています。また、玄門にある閉塞石は、観音開きになる珍しい構造となっています。

JR西出雲駅から歩いて20分

◆大梶古墳◆

おおかじ こふん
こんなところにも古墳が!

出雲市古志町本郷



住宅地の中にひっそりと残る古墳。切石の横穴式石室で、基底部しか残っていません。出土品には金環があります。

JR西出雲駅から歩いて5分

宝塚古墳	徒歩15分
妙蓮寺山古墳	徒歩15分
放れ山古墳	徒歩15分
大梶古墳	徒歩15分

松江市の南郊、大庭町、山代町を中心とする一帯は、後の奈良時代に出雲国府が置かれたように、古代出雲の中心地の一つでした。よって、山陰でも有数の大型古墳密集地で、見学できる古墳も数多くあります。出土資料も、地内の資料館で展示をしていますので、合わせて見学するとよいでしょう。また、山代二子塚古墳横にはガイダンス山代の郷もあり、近辺の古墳や遺跡の紹介もしています。



松江市山代町二子塚

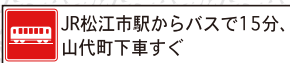
全長94m、出雲地方最大の古墳です。6世紀の中頃に造られたと考えられ、出雲市の大念寺古墳と並んで出雲を代表する大首長が葬られたと考えられます。内部の埋葬施設は不明ですが、長大な横穴式石室があると推測されます。この古墳では、全国で唯一、古墳を築いた盛土の様子を直接見ることができる、土層見学施設があります。



山代二子塚古墳周辺は古代出雲の王家の谷。どの古墳も大きくて古墳の形がよく分かります。

松江市大庭町茶臼 松江市山代町二子塚

いずれも45m前後の大きな方墳。
山代方墳には、きれいに整えられた
板石を組み合わせた「石棺式石室」
が開口しています。



大庭鷄塚古墳



山代方墳(石室)

松江市大草町岡田

風土記の丘センター敷地に整備されている
前方後方墳。横穴式石室が開口し、中には家
形石棺が納められています。この古墳からは、
装飾のついた大刀や馬具など多くの副葬品が
出土していますが、特に「額田部臣」の銘文の
入った大刀は著名。ヤマトの大豪族と深い関わ
りがあったことをこの大刀は示しています。



松江市大草町岩屋後



 JR松江駅からバス20分 風土記の丘
入口下車、徒歩5分

水田の中にぽつんと石室が露出している古墳。石室はかなり壊れていますが、陽光の下で特徴的な石棺式石室の構造を観察できます。



松江市大草町岩船

尾根の頂上部に露出した岩塊を直接削り込んで石棺を作った珍しい古墳。船の形にり込み、蓋をはめ込む丁寧な加工も見る事ができます。



松江市大草町杉谷

小型の前方後方墳。
きれいな切石で組まれ
た石棺式石室を見るこ
とができます。



松江市大草町安部谷・井手ノ上

山の斜面に露出した岩盤に、直接石室と同様の部屋を刻み込んだ横穴墓群。
非常に丁寧な加工をした横穴が5つ並んで開口しています。



松江市大草町東百塚・西百塚

丘陵の尾根から谷まで、隙間無く古墳が作られており、総数は東百塚山、西百塚山合わせて100基を超えます。



 JR 松江駅からバス20分、徒歩で30分

出雲国府跡に近い、意宇川の対岸丘陵には数多くの古墳があります。その数は県下随一であると同時に、石棺式石室・舟形石棺・横穴墓とバラエティーに富み、見応えがあります。山に登るので足下の準備を！

＜出雲玉作跡周辺の古墳＞

玉造温泉街の周辺にも、見学できるおもしろい古墳が集まっています。特に、石棺が特徴的で、整備された出雲玉作跡や玉作資料館と合わせての見学がおすすめです。

とくれんば こふん ◆徳連場古墳◆

玉作工人と関連？

国指定

松江市玉湯町玉造徳連場

玉作資料館近くの小円墳。「舟形石棺」と呼ばれる石棺が露出しています。

蓋は1枚、身は2枚の石を刳り抜いて作っています。



JR玉造温泉駅下車 バス10分 史跡公園入口下車徒歩5分



たまつくりつきやま こふん ◆玉造築山古墳◆

特異な形の舟形石棺を持つ古墳

県指定

松江市玉湯町玉造大門

温泉街西側の集落内にある古墳。特徴的な縄かけ突起がついた舟形石棺が2つ露出しています。

蓋と身の合わせ方が印ろう式で、丁寧に作られています。



JR玉造温泉駅下車 バス10分

いわやじあと よこあなぐん ◆岩屋寺跡横穴群◆

複室構造の横穴墓

国指定

松江市玉湯町玉造岩屋

温泉街西側の山の中に、岩を掘り込んだ横穴墓が2つ並んでいます。ともに丁寧に加工しており、古代の技術に感嘆します。



岩屋寺跡横穴群は巨大な岩盤に掘られています。ちょっと後からまわりこんでこの岩の上に登ってみましょう。ちょうど人が入るくらいの大きさで、岩が舟形に削り込まれているところがあります。古墳時代の石棺と考えられています。

JR玉湯温泉駅から車で10分

◆出雲玉作資料館◆ 「古代玉作」に関する国内唯一の資料館

玉湯町の花仙山は、首飾りの玉材となるめのうを産出することで有名。周辺の遺跡では弥生時代から平安時代まで、勾玉などを作りつけ、全国各地に送り出していました。この資料館ではそうした玉作遺跡から出土した玉の未成品や砥石などの工具を展示しています。

JR玉造温泉駅からバス10分、史跡公園入口下車徒歩10分



＜王陵の丘周辺の古墳＞

安来市の西郊、荒島町周辺には古墳時代前期を中心に、大型古墳が集中して作られています。主なものは古代出雲王陵の丘として整備され、見学しやすくなっています。

つくりやまこふんぐん おおなりこふん ◆造山古墳群・大成古墳◆

全国最大級！前期の大型方墳群

国指定

安来市荒島町造山 安来市荒島町大成

荒島駅近くのJR鉄道南丘陵上には、大成古墳、造山1号墳、造山3号墳と、古墳時代前期の4世紀頃的大型方墳が次々と造られました。

内部の埋葬施設は、いずれも長大な木棺の周りを石で囲んだ竪穴式石槨で、銅鏡などが副葬されていました。

その後6世紀には全長50mの前方後方墳(2号墳)が作られ、多数の埴輪が出土しています。

JR荒島駅から徒歩15分



造山2号墳(下)と出土した埴輪(上)

しおつやま1ごうふん

◆塩津山1号墳◆ トンネルの上の古墳

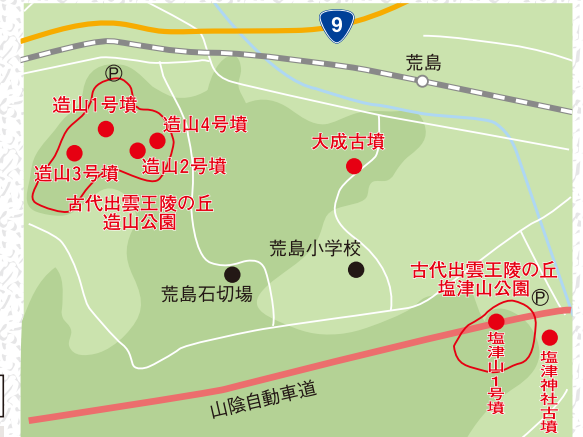
国指定

安来市久白町塩津

山陰道(安来道路)のトンネルの上に保存されて整備されている古墳です。古墳時代前期の方墳で、平野側の斜面に石をはって墳丘を飾っています。



塩津山1号墳は四角い方墳。でもちょっと角の部分に注目して下さい。古墳の裾が弓なりに反って、コーナーが飛び出した感じに見えます。これは弥生時代後期の出雲のシンボル、四隅突出型墳丘墓の名残と考えられています。



古代出雲王陵の丘

ちゅうせんじ ふんぼぐん
◆**仲仙寺墳墓群**◆ 元祖！四隅突出型墳丘墓 **国指定**

安来市西赤江町

古墳時代の直前、山陰では四角い墳墓のコーナーが突出した不思議な形の墓が多くつくられました。「四隅突出型墳丘墓」と呼ばれるこの墳墓をメジャーの座に押し上げたのが仲仙寺墳墓群。現在安来三中の裏山に宮山支群3号墳が、神塚団地の中に仲仙寺8号墓、9号墓が保存整備されています。



JR荒島駅からバス5分 安来三中前下車徒歩5分

しおづじんじゃ こふん
◆**塩津神社古墳**◆ 大型の石棺式石室が露出 **市指定**

安来市久白町

塩津山1号墳の下、神社の横に大きな石室が露出しています。巨大な家形石棺をそのまま石室にした、石棺式石室で、出雲東部に多く分布しています。この古墳は同種の石室でも最大級。



JR荒島駅から徒歩20分

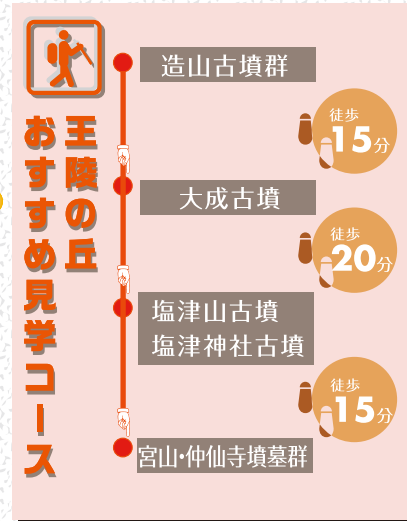
ひめづか こふん
◆**毘売塚古墳**◆ 『出雲国風土記』の神話伝承が残る前方後円墳 **県指定**

安来市黒井田町浜垣

安来駅裏、日立金属工場の東の山の頂上に造られた全長約50mの前方後円墳。発掘調査で、舟形石棺が見つかっています。『出雲国風土記』に記された、ワニに殺された娘の墓という伝承が残っている口マンあふれる古墳。ただ、残された人骨は男性だったといわれています。



JR安来駅から徒歩5分



いいなしいわふね こふん
◆**飯梨岩舟古墳**◆ 見応え十分な石棺式石室 **国指定**

安来市岩舟町岩屋

丘陵山腹に位置します。盛土は流失し、石棺式石室と呼ばれる横穴式石室が露出しています。玄室の天井石の内外面とも家形に加工されています。内部には刳り抜きの石棺の身と蓋片が各1個残っていますが開口が古く、副葬品は不明です。



JR荒島駅から車で10分



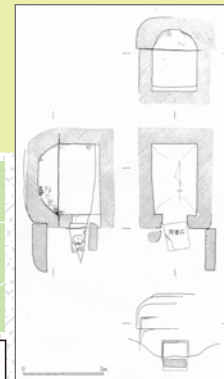
じゃこづか こふん
◆**若塚古墳**◆ 終末期のコンパクトな石室

安来市久白町

丘陵上に位置します。一辺11mの方墳で、横穴式石室は家形石棺の横口に羨道部を設けたものです。終末期の古墳で、7世紀中頃に築かれたと推定されます。開口が古く、副葬品は不明。



JR荒島駅から徒歩30分



やた こふんぐん
◆**矢田古墳群**◆ マニアにはおすすめ **市指定**

安来市久白町

古墳群や横穴墓が幾つかのグループに分かれて分布しています。古墳には竪穴式石槨をもつものがあります。横穴墓には、刳り抜きや組合せ式の家形石棺を内蔵するものも知られています。



JR荒島駅から車で15分



ひゅうがみねこふんぐん もりきみねこふんぐん
◆**日向峰古墳群・森木峰古墳群**◆ 見て、遊んで、楽しめる公園の古墳

安来市伯太町横屋・安来市伯太町赤屋

伯太川の上流の公園「上の台緑の村」にある古墳群。日向峰古墳群には12、13m程の小さな前方後円墳が1基あり、また、近くの森木峰古墳群には横穴式石室が露出しています。山の上に築かれた古墳群として注目されています。



JR安来駅から車で30分



やすぎしれきしりょうかん
◆**安来市立歴史資料館**◆

富田城跡の西麓に所在します。安来市内の遺跡や古墳から出土した遺物が多く展示してあります。また、中近世の歴史資料も見ることが出来ます。



JR安来駅から車で30分

かんばらじんじゃこふん
◆神原神社古墳◆

三角縁神獸鏡は卑弥呼の鏡？

雲南市加茂町神原

赤川沿いの低地にある前期古墳で、昭和47年に発掘調査が行われました。1辺約30mの方墳で、竪穴式石槨に割竹形木棺の痕跡が残っていました。副葬品には景初三年銘の銅鏡や刀剣、農工具類等があり、重要文化財に指定されています。現在、石槨は神社境内に移築されています。



JR:木次線加茂中駅下車 徒歩25分
自動車:国道54号線ラメールの交差点赤川沿いに神原神社へ

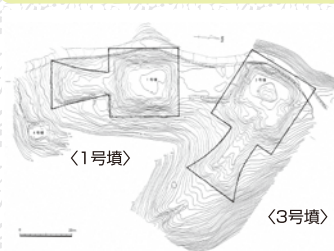
まつもと 1こふん
◆松本1号墳◆

数少ない前期の前方後方墳

県指定

雲南市三刀屋町給下

三刀屋川左岸の低丘陵に築かれた前期古墳で、昭和37年に発掘調査が行われました。全長50mの前方後方墳で、後方部に粘土で木棺(割竹形と箱形)を覆った2基の埋葬施設が確認されました。副葬品としては、鏡、ガラス小玉、刀子、土器等が出土しています。また、北側にも同規模の前方後方墳(3号墳・市指定)が存在します。この古墳群により、斐伊川中流域に、勢力をもつ豪族がいたことが知られます。



松江自動車道三刀屋木次ICから車で5分

かんばいわふねやま こふん
◆神庭岩船山古墳◆

斐川町最大の前方後円墳

県指定

斐川町神庭

莊原小学校校庭にある前方後円墳で、全長60m程と推定されます。後円部頂部には舟形石棺が残されており、中期の代表的な古墳の1つです。副葬品は不明。



舟形石棺の蓋に作り出された縄掛け突起は丸く、四角いものより古い様相と言えます。

湯の川道の駅から車で5分

ここに注目!

出雲の古墳

びくにづか こふん

◆比丘尼塚古墳◆

典型的な山間部の横穴式石室

町指定

飯南町八神

神戸川の河岸段丘に築かれた径13mの円墳で、山側には幅5mの周溝が巡っています。横穴式石室は全長7.5mの細いもので、玄室と羨道との区別が無いものです。内部には、土砂が多く堆積しているため、構造は分からないものの、側壁は小さい割石や自然石を積んでいます。奥壁は大きい石を1枚置き、周りは小石で補っています。神戸川上流域では最大級の古墳です。開口は古く、出土品は知られていません。築造時期は7世紀前半と推定されています。



飯南町頓原庁舎から車で15分

いわや こふん
◆岩屋古墳◆

奥出雲を支配した豪族の奥津城

町指定

奥出雲町高田

高田廃寺の東側にある谷奥の山腹に位置しています。墳丘は径15m程の大きさですが、墳形は分かりません。横穴式石室の長さは7m程で、玄室の側壁・天井石は花崗岩の一枚石で構成されています。副葬品は、開口が古く、不明。築造時期は7世紀前半と推定されています。



JR亀嵩駅から車で5分

じょうらくじ こふん
◆常楽寺古墳◆

発掘された埴輪は粒ぞろい

奥出雲町高田

高田小学校の近くにある古墳。墳丘はなく、横穴式石室が露出しています。発掘調査により石室の前庭付近から馬形埴輪1、男子人物埴輪3、女子埴輪2、円筒埴輪14以上が発見されています。馬形埴輪には馬具が付き、女子の1体は土器をもっています。時期は6世紀中頃と推定されています。



JR亀嵩駅から車で5分

こだいいずもれきはくづかん

◆古代出雲歴史博物館◆

平成19年3月10日に、出雲大社の東隣に開館しました。古墳時代はもちろん、特徴ある島根の歴史を原始から近代まで通史的に見れる総合展示で、出雲大社の巨大柱、日本最多の銅剣・銅鐸、そして唯一完本の『出雲国風土記』の世界をテーマ別展示で紹介しています。さらに、映像や音響を駆使して、出雲神話を体感できる神話展示もおおすすめです。



出雲大社境内遺跡出土の宇豆柱



JR出雲駅駅から車で20分